

# 平成29年度実績に係る部局評価書

部局名:核物理研究センター

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

## 【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【研究】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		隕石を破壊せずに元素組成を測定し、世界初のミュオン非破壊元素分析による隕石の分類に成功するなどの研究成果が出ていることが評価できる。 また、JSTの産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラムに採択され、10大学・機関と15企業が参画する組織対組織の大型プロジェクトを開始したことが評価できる。
【社会貢献】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		福島県飯館村で環境放射線を学ぶ研修・教育プログラムについて、飯館村との間で協定を締結し、学生を派遣して放射能汚染の状況の測定や意見交換を行ったことや、これまでの成果により、平成30年度には、全学基礎セミナーとして実施予定であることが評価できる。
【グローバル化】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【業務運営】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		来年度以降に行う加速器の機能強化に向けて、加速器停止期間中における対応策等を他機関と連携して行っていること、クロス・アポイントメントや海外の著名な研究者の受入れを積極的に行ったことが評価できる。

## 【評価区分2:「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p><b>【評価コメント】</b>            学術システム研究センター研究員を招待し、科研費の近年の状況変化の説明会を開催するなど、科研費獲得への取組が認められる。            また、競争的資金(科研費以外)の採択件数・金額について、JSTの産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラムのため、取組を統合したことで件数は減少したものの、金額については実績を大きく向上させたことが評価できる。</p>
--